

～男女共同参画社会を考える情報コーナー～



ウィズ ユー あなたと
いっしょに
With you

第9回

「男女共同参画」という言葉は、日ごろ聞き慣れていない人には、自分には無縁の言葉のように思ってしまうものです。また、それを実行している男性は、「特別な人」「進んだ人」あるいは「変わった人」「ふがいない人」と評価が分かれてしまいがちです。


しかし、たまたま、「自分の人生を自分らしく送りたい」と思った結果、「男女共同参画と呼ばれるような生き方だった」というような男性がいるはずですよ。

「男女共同参画」という言葉もなかった時代に、まさしくそう呼ぶしかない人生を送ってきた人のお話を聞いてみたい、それが今回の対談の発端になりました。

 <p>藤田健次さん</p>	<p>昭和14年鶴田町生まれ。平成11年八戸公共職業安定所所長を退職。在職中から、版画家・マンガ家・エッセイストとして活躍。著書「看護婦のオヤジがんばる」シリーズは映画化され、昭和55年度文化庁優秀映画賞を受賞。現在は、版画家として市内のアトリエで制作活動中。</p>	 <p>With you 編集委員 羽田 修</p>	<p>昭和47年広島市生まれ。大学卒業後、英会話学校に勤務。平成10年転勤により八戸に移住。妻は看護師。一時子育てのため専業主夫となる。現在は英語講師、ミュージシャン。</p>
--	--	---	--

どもを連れて買い物に行くと、レジの人に「ほらほら、あの人も来たわよ。なんでも、奥さんに逃げられたらしいわよ！」なんて噂うわさされました。そして、ついたあだ名が「スーパーマン」です。


うちのカーちゃんの場合は、結婚当時、夜勤が月に13回あったんです。日曜日毎月3回は勤務でした。だから、「時々家に泊まりに来る人」という感じでした。


 私は結婚当時、英語講師をしていたので帰りも夜遅く、妻も夜勤があり、不規則な生活をしていました。そんな中、子どもが生まれ、夜遅くまで子どもを預けるようになったんです。でもある時、ふと、「ちょっとこのあたりで、人生を振り返ってみようかな。仕事を辞めて、家事・育児をしてみようかな」と思うと思っただきっかけですね。

実際、家事・育児をやってみると大変でした。でも、夜中に子ども

2002年
看護師のオヤジがんばる


カンヅメ大会

 私は、学生時代から10年間、自炊をしていたので、抵抗なく料理はできました。得意料理は、スパゲティです。うちの子どもは、スパゲティばかり食べています。でも、最近では、せんべい汁も作れるようになりました。

 私の料理は適当ですよ。カンヅメ大会とか。(笑)疲れてたり、何も無いときに、「今日は、カンヅメ大会!」と言って、家中の缶詰を

もと2人きりしていると、変にドラマチックな気分になったりもして、楽しいこと、感動することもいろいろありました。

スーパーマン

 私は、そのドラマをいっぱい拾いあげて、本を3冊書きました。本当にドラマの世界ですよ。


現在は、男性がスーパーで買物をする姿をごく普通に見かけますが、当時は大変珍しかったですよ。身なりをあまりかまわない私が子





藤田健次さん


羽田編集委員


開けるんです。そうすると、子どもたちもつい乗せられて、「ワイー!」となったり。あと、よく作ったのはチャーハンです。今でも、娘たちが食べたがる私の自慢料理ですよ。でも、ほとんど、カアちゃんが夜勤に出かける前に料理を作っていくので、私はあまり作らずに済みました。

 私は、料理はがんばれるんですが、洗濯は苦手ですね。

 でも、もちろん、カアちゃんの下着も洗濯しますよね。


 洗います。

 それでこそ、看護師の夫です。私は、洗濯が大好きです。洗った後の開放感がたまたまなくいいですね。


 私は掃除をすることで、開放感

を得ています。

家事・育児はいのちの根幹

 主夫になってみたら、だんだん、考え方が主婦になってくるんですね。例えば、帰宅した妻が何もしないことに腹が立ったり、毎日同じことの繰り返しで、社会に取り残されるという焦り、いらだちとかが出て来るんです。ですから、女性のつらさも分かりましたし、自分は今までずるくて甘えていたと反省しました。

それに、精神的なプレッシャーも結構大きいんですよ。家に閉じこもって、黙々とやるわけですから。それに、子どもが寝ている間にしかできない家事もあります。そうすると、自分の時間が全くなくなるんですよ。さらに辛い思いや苦しい気持ちになったりするんです。まるで育児ノイローゼみたいでしたね。


 そうですね。私も一日いっぱい、子どもといると辛くなることがありましたね。でも、そうする人がいなければ、子どもは育ちません。私が今、こうして好きな版画を楽しむのも、おいしいものを食べられるのも、私の親がそうして私を育ててくれたからなんです。私自身、親のありがたみが分かったから、がん


ばって子育てをしたんです。

家事・育児は、生きるための根幹です。いのちを育てるということですから、すごいことです。ですから、この重大さにおいては、外で働いて給料をもらってくるより重いと思います。

「男だから仕事、女だから家事」というのは、たまたま世の中の流れがそうだったのであって、家事・育児は男、女関係なくやればできるんです。

現実的な流れ

 私たちの場合、子どもがいるのに、毎晩のように夫婦2人の帰宅が遅いのが嫌でした。なんとかできないかと考え、英語講師以外の職業は考えられなかった私が、仕事を辞めたんです。それに、経済的なことを考えると、妻の給料の方が私よりも多かったんで、妻に仕事を続けてもらったんです。

 私は3年前に退職、カアちゃんはこの3月に定年となりました。やっと、看護師の父ちゃんを卒業できました。でも、何も変わってませんよ。今でも、夫婦で分担して、家事はやっています。

私は、特別なことをしてきたつもりはありません。私たちが共働きを

選んだのは、例えば、本を買いたい、家が欲しい、カアちゃんは仕事を続けたいといった極めて現実的な流れの結果でした。その結果として、子どもの成長に直接関わることができ、感動し、新しい発見も得られました。そして私自身、そんな生活を楽しんできた部分があります。

もし、看護師の夫でなければ、私はわがままですから、好き勝手をして家事・育児はしなかったと思います。(2月15日号につづく)

「おかあさん」と走り寄る子を抱く妻は、頬つや失せて今夜勤終えり



「看護師のオヤジ泣いて笑って」
藤田健次著 より

本文中で、男女共同参画の推進のうえで適さない言葉「奥さん」を使用しておりますが、会話内ですのでご了承ください。

「男女共同参画社会を考えよう！
ちよつと言わせて 五・七・五」
コンクール入選者に聞く



平成13年10月31日、八戸市は、男女一人ひとりが生き生きと暮らせるまちをめざして、「男女共同参画都市」を宣言しました。その都市宣言を記念して、『男女共同参画社会を考えよう！「ちよつと言わせて五・七・五」コンクール』が開催されました。小学生の部・190点の応募作品の中から、最優秀賞を受賞した大嶋美彩絵さん（現在・下長中1年）に、男女共同参画についてのお話をお聞きしました。

以前から、学校や地域で「男なんだから、しつかりしろ」とか、「女の子なんだから、おしとやかに」と言われるのがとても嫌でした。授業の中に、奉仕活動の時間があるのですが、男子はつらい仕事、女子は男子よりも簡単な仕事が与えられます。「どつして、男女別にするんだろ。一緒にやったらいいのにな」と不思議でした。ですから、作品を募集していると先生に聞いたとき、すぐにこの五・七・五を思いついたんです。

「男なら」「女だから」は もう禁句

今年、中学生になりましたが、社会科で男女共同参画についての勉強をしました。その中で、現在は男女別の求人をしていないので、職業を自由に選べることを知りました。私たちが大人になったときに、男女平等で仲良く協力し合って、楽しく仕事ができるということは大変うれしいことです。

男でも女でも、大人でも子どもでも、「差別」や「区別」ということで対立したり、争ったりしないで、一人ひとりが平等で、何でもできる世の中になるといいと思います。

一人ひとりが生き生きと暮らせるまちをめざして

八戸市男女共同参画基本条例
ワンポイント講座

- 基本理念 - 「男女の人権の尊重」について

男女それぞれの人権を尊重し、性別により差別しないようにしましょう。

また、一人ひとりが個性と能力を發揮できるようにしましょう。

「男だから」「女だから」と、性別により差別していませんか？それぞれの個性と能力は、一人ひとりのものです。一人ひとりの人権を尊重し、男女が対等なパートナーとして、その個性と能力を發揮することができる男女共同参画社会を築いていきましょう。



イベントのお知らせ

はちのへ男女共同参画フォーラム 2002
あなたも生き生き・わたしも生き生き！

毎年10月は、八戸市の「男女共同参画推進月間」です。今年、はちのへ男女共同参画推進ネットワークが市の委託事業としてフォーラムを開催します。

と き 平成14年10月26日
13:00 ~ 16:30

ところ 天聖寺ホール(十六日町)

入場料 無料

内 容 ・講演会 手話通訳あります。
講 師 対馬ルリ子さん
(医師・八戸市出身)
テーマ 「女性がつくる
女性の医療」

・ワークショップ

保育室あります(2歳以上定員10人・予約が必要です。定員になりしだい締め切ります。)

えみこの読書日記

『うちへ帰れなくなったパパ』（ラゲンヒルド・ニルスツン作、ノルウエー）は、仕事に没頭して、家族から引越先先の住所も電話番号も教えてもらえなかったパパのお話です。

「あらすじ」バスの中で小さな男の子が母親に「パパってなんの役に立つの？」と聞いたのをきっかけに、同じような年齢の子どもを持つ主人公は一生懸命考える。働いてお金を稼ぐ、車の運転、ペンキ塗り、壊れたものを直す…。でも「それはママにもできるよ」とその男の子に反論され、彼はがく然とする。



家に帰れず、「父親だけができることは何か」を探す彼は、探検家と冒険したり、空を飛んだり、カウボーイと一緒に過ごしてみるが、それは自分らしくないことに気がつく。強くて、たくましい「男らしさ」に向かうことだけが父親だと思っていた彼は、家事や育児も妻と分かち合い、喜びや楽しさを家族一緒に味わうことが役に立つ父親「男らしさ」ではないかと思いはじめます。

男女共同参画は、「男らしさ」という鎧よろいを脱いで自分らしく生きてもいいのだという男性への応援策でもあります。「この本、子どもにも読んであげて」今度は夫に手渡してみようかな。

知って得するカタカナ用語

「ジェンダー」とは？

男らしさ、女らしさといった社会的・文化的に形成された男女の違いのことをいいます。これに対し、生物学的な性差をセックスといいます。

「男らしく、女らしく」と要求される結果、男女それぞれの意識が形成されていき、「男は仕事、女は家庭」といった固定的な役割分担意識の根本になっっているといえます。



ジェンダーのおしつけが、男性と女性の生き方を不自由な枠に閉じ込めてしまう大きな要因となっています。

編集後記

2週間、家を留守にする私の代わりに、夫に主夫になってもらいました。しかし、家に帰ってみると、洗濯機の前にはたくさんの洗い物。「あーあ、藤田さんにはならないなあ」と嘆く私に、「流し台はきれいでしょう」と自慢げに夫が言いました。(赤坂)

藤田さんと対談し、看護師の夫は昔のほうがもっと大変だったことを知りました。「少しずつ時代は動き続けてきたんだな。そして、ここからさらに住みやすい社会にしていくのは、私たちの仕事なんだ」と実感しました。(羽田)



この記事は、一般公募で選ばれた皆さんが作成・編集しています。
 今期の編集委員は、赤坂美千子さん・工藤恵美子さん・羽田修さん・藤村幸子さんです。
 お問い合わせ 生活・交通安全課 男女共同参画班 (N内線 485)